PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE 取手記念の初日特選でも連を独 が多く、全日本選抜の準決、6月 なすので、連係を奏功させること があり、ヨコの動きもそつなくこ 両者ともに切れ味鋭いスピード ンビがファンの支持を集めよう。 「ゴールド・ウイング賞」は、まだ

ちの尊いレースを見逃すな!! 繰り広げられる4日間だ。推した して覇を競う。スピードバトルが 修二ら全国各地から強豪が集結 吉田拓矢、山口拳矢、松谷秀幸、南 SS班2名をはじめ、武藤龍生、 今シリーズは眞杉匠、新山響平の 残暑が厳しい8月28日~31日の 日程でナイターにて開催される。 匠、吉田拓矢の関東ゴールデンコ ワンツーを決めている眞杉 ービー、サマーナイトの決勝

西武園競輪場開設75周年記念

もおかしくないが、当所は相性が

ルの成績を残している。7月はサ

の大会を制しているし、一昨年は

いい眞杉を上位にとる。昨年のこ

後続の吉田、佐藤礼を決勝に送り 9着と大敗を喫したが、先行して 覇を睨む。吉田の逆転も十分。ダ えない強気な自力攻撃で大会連 込んでいて、別線を沈黙させてい オールスターでタイトルホルダ る。対戦相手に精神的な余裕を与 のバンク。オールスターは準決で ビー王に輝いた後も、高いレ の仲間入りを果たした思い出



占している。どちらを本命視して

次第だろう。昨年の決勝は地元勢 前橋を連覇していて、調子は申し 3連対を果たしていて伸びは良 線だった。 が大挙5車優参し、 眞杉匠とは別 線で勝負するかはメンバー構成 分ない。栃茨勢と連係するか、別 念で晴らしたい。8月は四日市、 参戦できなかった無念を地元記 好だった。森田はオールスターに 上位進出の権利を逸したものの、 ター②①⑦④①着。準々決勝Aで 地元勢では武藤龍生、森田優弥ら に期待がかかる。武藤はオールス

きずに終っている。この開催まで ター③了⑦⑦着、まったく先行で した影響があったのか、オールス ただ、新山はサマーナイトで落車 ルダーがズラリとそろっている。 藤慎太郎、成田和也とタイトルホ 視する手もある。グランドスラマ -の新田祐大をはじめとして、 佐 新山響平率いる北日本勢を重

) (a) 30 (b) 31



0

KATSU

上げたスピードは悪くなかった。 手から最終2コーナーでまくり 連係にしてやられたものの、6番 準V。オールスターは1505 マーナイト、京王閣G3と続けて 着、決勝は脇本雄率いる近畿4車

を握って好勝負に持ち込める。 援軍は充実しているので、主導権 沈の鍵となりそうだ。復調なら、 コードを更新する上がり8秒8 月富山記念の決勝では、バンクレ にどこまで調子を戻せるかが、浮 ダークホースは山口拳矢か。8

オールスター②①③③**3着**。G

るようだと一発怖い。

くりで制している。展開がもつれ

ターはオリオン賞を鮮やかなま のまくりで優勝すると、オールス

③❸着、久しぶりのG1優参を果 いてワンツーを決めている。 係し、佐々木のまくりに岩津が続 木豪とタッグを組むか。両者はオ など一皮むけた印象がある佐々 たした。ここは8月高知で完全V せない。オールスターでは③②① るし、まくりの機動力も持つ。 離せない。位置取りには定評があ たす快走を演じた南修二も目が 1の決勝で、初の確定板入りを果 差し脚快調な岩津裕介も見逃 ルスターの二次予選Bでも

						ゴー	ル	۴.	ウィ	1:	ング賞	出	場 ·	予定	選	手			 202	5年	08月19日期	見在のえ	ータで	です。
級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
SS	新山響平	青森	107期	115.75	S1	石塚輪太郎	和歌山	105期	104.95	S2	西田雅志	広島	82期	98.84	S2	成松春樹	佐賀	93期	97.54	S2	川口雄太	徳島	111期	100.69
SS	真杉匠	栃木	113期	116.71	S 1	吉田拓矢	茨城	107期	120.42	S2	川口直人	神奈川	84期	95.07	S2	伊藤勝太	愛知	95期	93.15	S2	佐々木堅次	福島	113期	98.58
S 1	香川雄介	香川	76期	108.59	S 1	佐々木龍	神奈川	109期	113.00	S2	渡部哲男	愛媛	84期	109.17	S2	長井優斗	東京	95 期	91.00	S2	幸田望夢	栃木	115期	98.97
S1	佐藤慎太郎	福島	78期	111.84	S1	大石崇晴	大阪	109期	108.40	S2	岡本英之	千葉	85期	92.63	S2	杉本正隆	茨城	96期	104.57	S2	齋木翔多	静岡	115期	100.00
S1	大坪功一	福岡	81期	104.08	S1	瓜生崇智	熊本	109期	102.58	S2	筒井敦史	岡山	85期	103.26	S2	古川宗行	東京	96期	90.17	S2	田中大我	奈良	115期	102.38
S1	大槻寛徳	宮城	85 期	108.22	S1	佐々木豪	愛媛	109期	111.36	S2	上田裕和	三重	86期	98.42	S2	根本哲吏	秋田	97期	100.73	S2	今野有樹	愛媛	115期	98.00
S1	中川誠一郎	熊本	85 期	104.00	S1	南潤	和歌山	111期	103.31	S2	近藤俊明	神奈川	87期	95.37	S2	久木原洋	埼玉	97期	104.05	S2	梁島邦友	茨城	117期	93.72
S1	稲垣裕之	京都	86期	102.76	S1	黒沢征治	埼玉	113期	105.94	S2	鈴木伸之	愛知	87期	95.90	S2	柿澤大貴	長野	97期	104.00	S2	太田龍希	埼玉	117期	97.27
S1	岩津裕介	岡山	87期	112.87	S1	森田優弥	埼玉	113期	111.96	S2	1-3717-071	岡山	87期	92.55	S2	本多哲也	千葉	97期	88.08	S2	山本勝利	東京	117期	100.82
S1	成田和也	福島	88期	115.30	S1	山田諒	岐阜	113期	108.78		小埜正義	千葉	88期	89.55	S2	佐方良行	熊本	97期	101.17	S2	渡邉雅也	静岡	117期	106.23
S1	山崎芳仁	福島	88期	107.30	S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	106.20	S2	菊地圭尚	北海道	89期	102.37	S2	箱田優樹	青森	98期	101.80	S2	林敬宏	愛知	117期	92.07
S1	南修二	大阪	88期	115.48	S1	山口拳矢	岐阜	117期	113.97	S2	田中誠	福岡	89期	104.00	S2	泉慶輔	宮城	99期	95.11	S2	兼本将太	熊本	117期	
S1	永澤剛	青森	91期	111.44	S1	久田裕也	徳島	117期	108.52	S2	早坂秀悟	茨城	90期	95.00	S2	高橋広大	埼玉	99期	98.11	S2	堀江省吾	長野	119期	
S1	宿口陽一	埼玉	91期	107.79	S1	伊藤旭	熊本	117期	109.19	S2		福島	90期	110.81	S2	山本直	岡山	101期	99.92	S2	林昌幸	愛媛	119期	95.76
S1	池田良	広島	91期	102.11		小川圭二	徳島	68期	92.00	S2	小野大介	福島	91期	98.54	S2	坂本周作	青森	105期	98.92	S2	松本憲斗	熊本	119期	96.30
S1	木村隆弘	徳島	91期	104.79		那須久幸	福岡	71期	95.52		房州輝也	福島	91期	97.74	S2	神田龍	三重	105期	97.45	S2	山口多聞	埼玉	121期	
S1	松谷秀幸	神奈川	96期	116.22	S2	成清貴之	千葉	73 期	94.00	S2	石川雅望	群馬	91期	92.67	S2	畑段嵐士	京都	105期	101.45	S2	小西晴己	三重	121期	96.04
S1	塚本大樹	熊本	96期	107.74		松田治之	大阪	73 期	103.96	S2		三重	91期	104.61	S2	中村弘之輔	北海道	109期	93.37	S2	甲斐俊祐	大分	121期	99.45
S1	松岡篤哉	岐阜	97期	100.62	S2	小林潤二	群馬	75 期	100.41	S2	桑原亮	福岡	91期	94.89	S2	木村幸希	広島	109期	96.09	S2	青木瑞樹	岡山	123 期	98.44
S1	武藤龍生	埼玉	98期	115.10		萩原孝之	静岡	80 期	99.83		山崎将幸	宮城	92期	97.84	S2	竹内翼	広島	109期	95.16	S2	森田一郎	埼玉	125期	105.54
S1	中田健太	埼玉	99期	100.14	S2	友定祐己	岡山	82 期	101.10	S2	山口貴弘	佐賀	92期	101.97	S2	川越勇星	神奈川	111期	101.00					
S1	山本伸一	奈良	101期	107.59	S2	藤田昌宏	岡山	82期	94.41	S2	福島栄一	香川	93 期	96.48	S2	中野雄喜	京都	111期	95.64					

プロスポーツ

ゴールド・ウイング賞号外版

山口多聞(埼玉/121期)

直近3場所はすべて決勝に進出。7月松戸、8月福井はいずれも予選、準決を連勝している。連がらみの決まり手は約9割が逃げで、相変わらず積極的だ。地元記念で先行力を猛アピールする。





堀江 省吾(長野/119期)

しばらく決勝には乗れていないものの、連対は非常に多い。6月四日市G3、7月弥彦記念では、いずれも準決にコマを進めている。機動力には非凡なものがあり、一次予選はもちろん、二次予選でも目が離せない。





渡部 哲男 (愛媛/84期)

サマーナイトの最終日は、河端朋のカマシに 乗って勝ち星をゲットすると、8月平の準決は 石原颯、同月玉野の準決でも谷口遼の逃げに それぞれ食い下がって2着。目標をつかんだと きの捌き、差し脚はしっかりしている。

地元地区推奨選手



森田一郎

(埼玉/125期)

5月京王閣の決勝で落車し、約2カ月半実戦を離れた。復帰戦の8月前橋は1⑦5着。まだ本調子ではなかったが、1場所走って調子の上積みは期待できる。初の地元記念で躍動するか。

久木原 洋

(埼玉/97期)

半年ほど勝ち星から見放されているが、調子に問題はない。 6月平塚は初日特選で鈴木玄のまくりに食い下がり2着、8月福井では2②3着。ホームバンクの記念で存在感を示す。



